

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期	
科目名称	商業簿記Ⅰ	履修	必履修	
担当講師	工藤正剛、佐々木茂			
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	48		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			簿記の基礎、現金当座預金、商品売買、手形、様々な取引、有形固定資産
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
	授業概要			日商簿記3級の内容を通じ、小規模事業者の経理を学習する。また、『商業簿記演習Ⅰ』における答練に備える。
授業目標	日商簿記3級テキストの内容をすべて学習。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	商業簿記演習 I	履修	必履修
担当講師	工藤正剛、佐々木茂		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習
単位時間数	48		単位時間
授業計画	4月	/	
	5月	/	
	6月	/	
	7月	/	
	8月	/	
	9月	試算表・決算の手続き	
	10月	/	
	11月	/	
	12月	/	
	1月	/	
	2月	/	
	3月	/	
授業概要	『商業簿記 I』を受け、日商簿記3級の実践問題(予想問題及び過去問題)の答練を実施。検定合格できる実力を養成、完成する。		
授業目標	日商簿記検定3級合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	商業簿記演習Ⅱ (専 攻講座Ⅲ)	履修	選択必修
担当講師	工藤正剛、佐々木茂		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習
単位時間数	88		単位時間
授業計画	4月	/	
	5月	/	
	6月	/	
	7月	/	
	8月	/	
	9月	/	
	10月	答練(予想問題及び過去問題)	
	11月	答練(予想問題及び過去問題)	
	12月	/	
	1月	/	
	2月	/	
	3月	/	
	授業概要	『商業簿記演習Ⅰ』を受け、日商簿記3級の実践問題(予想問題及び過去問題)の答練を実施。検定合格できる実力を養成、完成する。	
授業目標	日商簿記検定3級合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	国内旅行概論 (専攻講座Ⅰ)	履修	選択必修
担当講師	玉澤浩光		
担当講師の 実務経験の有無	無・ <input checked="" type="radio"/> (元旅行会社勤務。旅行業務に携わる。関係資格取得者。)		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	114		単位時間
授業計画	4月	旅行業法	
	5月	標準旅行業約款	
	6月	運送・宿泊約款	
	7月	JR運賃・料金	
	8月	国内航空運賃・料金・フェリー運賃	
	9月	過去問・予想問	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
	授業概要	国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指し、旅行業法、旅行業約款、国内実務を中心に講義及び問題演習を行う。	
授業目標	9月の国内旅行業務取扱管理者試験の合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	国内旅行地理 (専攻講座Ⅱ)	履修	選択必修
担当講師	玉澤浩光		
担当講師の 実務経験の有無	無 <input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> (元旅行会社勤務。旅行業務に携わる。関係資格取得者。)		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	110		単位時間
授業計画	4月	都道府県別観光資源①等	
	5月	都道府県別観光資源②等	
	6月	世界遺産・国立公園・ラムサール湿地等	
	7月	国内観光資源演習	
	8月	過去問・予想問	
	9月	過去問・予想問	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
	授業概要	国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指し、国内観光資源を中心に講義及び問題演習を行う。	
授業目標	9月の国内旅行業務取扱管理者試験の合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	基礎英語 I	履修	必履修
担当講師	程 海薇		
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	34 単位時間		
授業計画	4月	自己紹介、(文法)受け身、単語学習、リスニング学習	
	5月	(文法)現在完了形、単語学習、リスニング学習	
	6月	(文法)疑問文、単語学習、リスニング学習	
	7月	これまでの振り返り、単語学習、リスニング学習	
	8月	(文法)分詞、単語学習、リスニング学習	
	9月	(文法)関係代名詞、単語学習、リスニング学習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	英会話の基本及び実用英語技能検定3級の単語集をもとに英語の基礎力の向上を図る		
授業目標	英語基礎力の向上及び実用英語技能検定3級の単語力の範囲を一通り終える		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	実践英会話 I	履修	必修
担当講師	程 海薇		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	38		単位時間
授業計画	4月	自己紹介・便利フレーズ	
	5月	共通の表現①	
	6月	共通の表現②	
	7月	共通の表現②	
	8月	飲食での会話①	
	9月	飲食での会話②	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
	授業概要	日本人学生と留学生合同の英会話の授業である。英語圏から来た留学生もいるので学生どうしの英会話等を通じて英会話に親しみ、英語会話力の向上を目指す。	
授業目標	英会話の基礎力の向上		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	基礎英語Ⅱ	履修	必履修
担当講師	程 海薇		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	36		単位時間
授業計画	4月	/	
	5月	/	
	6月	/	
	7月	/	
	8月	/	
	9月	/	
	10月	過去問対策、ライティング対策、単語学習、リスニング学習	
	11月	長文読解対策、単語学習、リスニング学習	
	12月	これまでの振り返り、単語学習、リスニング学習	
	1月	これまでの振り返り、単語学習、リスニング学習	
	2月	スピーキング対策、単語学習、リスニング学習	
	3月	これまでの振り返り	
	授業概要	『基礎英語Ⅰ』を受けて実用英語技能検定3級受験を視野入れるとともに、その対策のためのより応用的な会話力の養成を図る。また問題演習等も行う。	
授業目標	英語基礎力の確立・実用英語技能検定3級受験レベルの英語力養成		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	実践英会話Ⅱ	履修	必履修
担当講師	程 海薇		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	36		単位時間
授業計画	4月	/	
	5月	/	
	6月	/	
	7月	/	
	8月	/	
	9月	/	
	10月	飲食での会話③	
	11月	飲食での会話④	
	12月	販売での会話①	
	1月	販売での会話②	
	2月	販売での会話③	
	3月	まとめ・会話練習	
	授業概要	日本人学生と留学生合同の英会話の授業である。英語圏から来た留学生もいるので学生どうしの英会話等を通じて英会話に親しみ、英語会話力の向上を目指す。	
授業目標	英会話の基礎力の向上		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	一般教養 I	履修	必履修
担当講師	工藤正剛		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	68 単位時間		
授業計画	4月	四則演算、分数、小数、割合、比例式、整数、方程式、関数	
	5月	速度算、仕事算、損益算、濃度算、精算、割引、平均、場合の数、確率	
	6月	図表解釈、論理推論、語句の意味と用法、敬語、長文読解	
	7月	2語関係、文法、短文の穴埋め、文章整序、空欄補充	
	8月	非言語問題の演習	
	9月	小テスト(これまでの振り返り)	
	10月	/	
	11月	/	
	12月	/	
	1月	/	
	2月	/	
	3月	/	
	授業概要	就職における主要な筆記試験SPIの基礎を学習する。	
授業目標	SPIの基礎力の獲得		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	一般教養Ⅱ	履修	必履修
担当講師	工藤正剛		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	94		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	時事問題(政治、国際情勢、経済、産業)、SPI小テスト	
	11月	時事問題(金融、科学・技術、自然・環境、社会・生活、教育・文化、スポーツ・芸能)、SPI小テスト	
	12月	一般常識(国語・社会)、SPI小テスト	
	1月	一般常識(数学・物理化学、英語)、SPI小テスト	
	2月	小テスト(一般常識及びSPI)	
	3月	小テスト(一般常識及びSPI)	
授業概要	『一般教養Ⅰ』で学習したSPIに加え、一般常識問題対策を実施。教養をより高める。		
授業目標	SPIの実力定着と一般常識問題に対する基礎力養成		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	コンピュータリテラシー I	履修	必履修
担当講師	佐々木真弓		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習
単位時間数	64		単位時間
授業計画	4月	コンピュータの基礎と入力練習	
	5月	Wordテキストから図形・表などの作成・練習	
	6月	Wordテキストから図形・表などの作成・練習	
	7月	サーティファイWord検定3級の問題練習	
	8月	サーティファイWord検定3級の問題練習	
	9月	サーティファイWord検定3級のまとめ	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	コンピュータの基礎知識を学ぶとともにワープロソフトの基本操作から応用力も身に付ける。		
授業目標	サーティファイのWord検定3級の合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	コンピュータリテラシーⅡ	履修	必履修
担当講師	佐々木真弓		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習
単位時間数	72		単位時間
授業計画	4月	/	
	5月	/	
	6月	/	
	7月	/	
	8月	/	
	9月	/	
	10月	Excelの基礎と入力練習	
	11月	表計算と関数	
	12月	グラフ、データベース、その他	
	1月	サーティファイExcel検定3級問題の練習	
	2月	サーティファイExcel検定3級問題の練習	
	3月	サーティファイExcel検定3級のまとめ	
	授業概要	Excelの基礎を身に付け、表の計算から関数、グラフ、データベースの処理ができるようにする。さらに、サーティファイExcel検定3級を受験するべく対策を行う。	
授業目標	サーティファイExcel検定3級の合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	販売実践 I	履修	必履修
担当講師	東海林千秋		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	38		単位時間
授業計画	4月	マーケティングの基本知識、接客マナー	
	5月	パンフレット・リーフレットの基本	
	6月	接客用語、実践実習	
	7月	顧客満足の基本	
	8月	ディスプレイの考え方	
	9月	POP広告の基本・作成	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
	授業概要	リテールマーケティングのテキスト等を使用しながら理論的な販売の知識をつけつつ、地元企業の協力を得て販売の基本を企業の協力のもとに実践する。	
授業目標	販売は、接客だけで成り立っているのではないという基本を理解する。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	販売実践Ⅱ	履修	必履修
担当講師	恩田陽子		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習
単位時間数	64 単位時間		
授業計画	4月	/	
	5月	/	
	6月	/	
	7月	/	
	8月	/	
	9月	/	
	10月	イベントの企画	
	11月	イベントの企画・計画	
	12月	イベントの運営・反省	
	1月	/	
	2月	/	
	3月	/	
	授業概要	販売実践Ⅰの経験を元に盛岡市の観光・商業施設において、地域の特性や、これまでの集客数を鑑み、地域の活性化につながるイベントについて企画実践する。	
授業目標	地域の活性化につながるイベントを企画し、運営する		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	販売理論 I	履修	必履修
担当講師	東海林千秋		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	80		単位時間
授業計画	4月	/	
	5月	/	
	6月	/	
	7月	/	
	8月	/	
	9月	/	
	10月	小売業の種類、流通における小売業の役割	
	11月	マーチャンダイジング、販売と仕入れ計画、在庫管理の仕方	
	12月	ストアオペレーション、荷受けとディスプレイ、作業割り当て	
	1月	マーケティング、顧客管理、売り場づくり、人間関係論	
	2月	過去問題の答練を行う	
	3月	2級の内容について概要理解	
	授業概要	販売実践で得た知識を、検定試験の内容で復習しつつ実務として定着させる	
授業目標	リテールマーケティング3級合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	キャリアアップ I	履修	必履修
担当講師	恩田 陽子		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	26		単位時間
授業計画	4月	ビジネスの基本・業界の知識の基礎学習	
	5月	ビジネスマナーの基本と業界知識の学習①	
	6月	ビジネスマナーの基本と業界知識の学習②	
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	企業との実践事業を通じて、企業をとりまく業界の理解や企業の仕事や社会の中での仕事などの理解を深める。		
授業目標	就職活動をしていく上での自分の指針を明確にする		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	キャリアアップⅡ	履修	必履修
担当講師	工藤正剛		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習
単位時間数	36		単位時間
授業計画	4月	/	
	5月	/	
	6月	/	
	7月	/	
	8月	/	
	9月	/	
	10月	『新聞の読み方』講座、新聞切り抜きレポート(以下、レポート)提出	
	11月	レポート提出	
	12月	レポート提出	
	1月	レポート提出	
	2月	レポート提出	
	3月	レポート提出	
	授業概要	新聞を活用した読解力、情報収集力、文章力を養成する。最終的には地元の新聞への投稿・掲載を目指す。	
授業目標	積極的な就職活動を展開するための教養、常識を身に付ける。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	サービス接遇 I	履修	必履修
担当講師	恩田陽子		
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	40		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
	授業概要		
授業目標	検定合格はもちろんだが、話し方・立居振舞をブラッシュアップさせる		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	秘書技能 I	履修	必履修
担当講師	工藤正剛		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	32		単位時間
授業計画	4月	/	
	5月	/	
	6月	/	
	7月	/	
	8月	/	
	9月	/	
	10月	/	
	11月	/	
	12月	/	
	1月	ビジネス社会の常識	
	2月	ビジネス社会の常識、仕事をするための基礎知識	
	3月	仕事をするための基礎知識	
	授業概要	基礎的なビジネスマナーを学び、将来の就職試験に活かすとともにビジネス社会での一般教養を獲得する。	
授業目標	就職試験への対応と基礎的なビジネスマナーの獲得		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期	
科目名称	就業実習講座	履修	必履修	
担当講師	工藤正剛			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習	
単位時間数	32		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			ビジネスの基本、提携企業での就業体験、振り返り(レポート提出)
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	提携先の企業と連携し、就業体験を通じ外部評価を受けることにより就職活動に活かす。			
授業目標	実際の企業での就業体験を通じ自分の就業感を確立する。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期		
科目名称	サービス接遇Ⅱ	履修	必履修		
担当講師	東海林千秋				
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()				
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義		
単位時間数	28		単位時間		
授業計画	4月	サービススタッフの資質 理論編			
	5月	対人技能、実務技能 実技編			
	6月	過去問題練習			
	7月	/			
	8月				
	9月				
	10月				
	11月				
	12月				
	1月				
	2月				
	3月				
授業概要	サービス接遇検定の受験を通して、サービスの“理論と表現”を学ぶ。サービス業務に対する心構え、対人心理、応対の技術、態度振舞、その在り方についてである。				
授業目標	サービス接遇実務検定試験2級取得				
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。				

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	基礎英語Ⅲ	履修	必履修
担当講師	程 海薇		
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	38		単位時間
授業計画	4月	実用化トレーニング・形容詞、単語小テスト	
	5月	実用化トレーニング・動詞、単語小テスト	
	6月	実用化トレーニング・命令文、単語小テスト	
	7月	実用化トレーニング・前置詞、単語小テスト	
	8月	実用化トレーニング・接続詞、単語小テスト	
	9月	前期まとめ・問題演習	
	10月	/	
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	英検3級レベルの英文法と英単語を学習。英会話においては、1年生で学んだ基礎をもとにより応用レベルの会話を学ぶ		
授業目標	英会話・英単語等の基礎を習得		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	実践英会話Ⅲ	履修	必履修
担当講師	程 海薇		
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	38		単位時間
授業計画	4月	自己紹介・便利フレーズ①	
	5月	便利フレーズ②	
	6月	宿泊での会話①	
	7月	宿泊での会話②	
	8月	観光での会話①	
	9月	観光での会話②	
	10月	/	
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	実践英会話Ⅱを通じて、留学生を含め学生どうしの英会話等を通じて英会話に親しみ、英語会話力の向上を目指す。		
授業目標	英会話の基礎力の向上		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	コンピュータリテラシーⅢ	履修	必履修
担当講師	工藤正剛		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習
単位時間数	38		単位時間
授業計画	4月	Accessの基礎知識、データベースの設計と作成	
	5月	テーブル、リレーションシップ、クエリ、フォーム	
	6月	クエリによるデータの抽出と集計、レポートによるデータの印刷	
	7月	便利な機能、総合問題、Access2019の新機能	
	8月	夏休み前の総復習	
	9月	検定対策(練習問題、模擬問題)	
	10月	/	
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	データベースソフトAccess2019を使用し、データベースとはどのようなものか体験する。前期終盤には「サーティファイ主催 Accessビジネスデータベース技能認定試験」の対策を実施。		
授業目標	データベースソフト Access の基本操作を習得		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期	
科目名称	色彩技能 I	履修	必履修	
担当講師	東海林千秋			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	36		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			色の見え方、眼のしくみ
	7月			色の分類と三属性
	8月			色の心理効果・視覚効果
	9月			配色の基本的な考えかた
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	ビジネスシーンにおける色彩計画をとりあげ、目的に応じた配色の基礎を自分でつくることのできるようになる。			
授業目標	色彩検定取得(3級またはUC級)、基本的な色彩計画ができるようになる。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	資産設計論	履修	必履修
担当講師	佐々木茂		
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	84		単位時間
授業計画	4月	A分野ライフプランニング	
	5月	B分野リスク管理	
	6月	C分野金融資産運営	
	7月	D分野タックス	
	8月	E分野不動産、F分野相続	
	9月	過去問・予想問演習	
	10月	/	
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	生活するうえでの社会保険やお金にまつわる一般常識を学ぶとともにファイナンシャルプランニング技能士3級の資格の取得を目指す。		
授業目標	ファイナンシャル・プランニング技能士3級の合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	地域研究 I	履修	必修
担当講師	恩田陽子		
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	76		単位時間
授業計画	4月	SDGsの理解、持続可能な街づくりについての認識	
	5月	城下町としての街づくりの歴史を踏まえ、街の魅力を考える	
	6月	魅力のサステナビリティのために、課題となることを考察する	
	7月	地域の課題の解決策についてアイデアを生み出す	
	8月	最適な課題解決策を選択する	
	9月	中間発表としてプレゼンテーション資料を作り発表する	
	10月	/	
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	地域における課題を発見し、その解決策をさぐるのを目的とする。前期は学校のある盛岡(岩手県の県庁所在地であり、玄関口である)の城下町としての街づくりの歴史、地理的条件、特産品について考察し、地域ならではの魅力と課題に挑む。		
授業目標	地元就職希望者を増やすためにも、地域の魅力の再発見を促す。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期		
科目名称	商業簿記Ⅱ (専攻講座Ⅳ)	履修	選択必修		
担当講師	工藤正剛、佐々木茂				
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()				
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義		
単位時間数	78		単位時間		
授業計画	4月	P/L、B/S、現金預金、有価証券、金銭債権、商品売買、商品の評価、固定資産			
	5月	減損会計、負債会計、退職給付会計、社債、純資産会計、外貨換算会計、デリバティブ、研究開発費			
	6月	企業結合、連結会計、持分法、C/F、税効果会計、試用販売、委託販売、割賦販売			
	7月	建設業会計、リース会計、本支店会計、企業結合・事業分離、特殊論点			
	8月	/			
	9月				
	10月				
	11月				
	12月				
	1月				
	2月				
	3月				
授業概要	日商簿記2級における商業簿記・会計学の基礎を学習する。テキストばかりでなく、過去問題を使用し、実践問題にも触れながら進めていく。				
授業目標	日商簿記2級における商業簿記・会計学の基礎固め				
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。				

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期		
科目名称	工業簿記 (専攻講座Ⅴ)	履修	選択必修		
担当講師	工藤正剛、佐々木茂				
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()				
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義		
単位時間数	78		単位時間		
授業計画	4月	材料費、労務費、経費、製造間接費、部門別計算、個別原価計算			
	5月	総合原価計算、工程別総合原価計算、標準原価計算、CVP分析、直接原価計算			
	6月	最適セールスマックスの決定、予算実績差異分析、業務的意思決定、設備投資意思決定			
	7月	組別総合原価計算、等級別総合原価計算、連産品、事業部の業績測定、予算編成			
	8月	/			
	9月				
	10月				
	11月				
	12月				
	1月				
	2月				
	3月				
授業概要	日商簿記2級における工業簿記・原価計算の基礎を学習する。テキストばかりでなく、過去問題を使用し、実践問題にも触れながら進めていく。				
授業目標	日商簿記2級における工業簿記・原価計算の基礎固め				
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。				

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期	
科目名称	工業簿記演習 (専攻講座VI)	履修	選択必修	
担当講師	工藤正剛、佐々木茂			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習	
単位時間数	72		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			工業簿記・過去問題演習
	9月			工業簿記・過去問題演習
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	日商簿記2級(工業簿記・原価計算)、過去問題15回分が教材。演習を徹底的に繰り返し、得点力を養成する。			
授業目標	日商簿記2級(工業簿記・原価計算)の過去問題に関して8割程度の理解力及び得点力			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期	
科目名称	基礎英語Ⅳ	履修	必履修	
担当講師	程 海薇			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	28		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			仕上げトレーニング①・比較、単語小テスト
	11月			仕上げトレーニング②、単語小テスト
	12月			仕上げトレーニング③、単語小テスト
	1月			総まとめ、単語小テスト
	2月			総まとめ・問題演習
	3月			
	授業概要			『基礎英語Ⅲ』に引き続き、より応用レベルの英会話と英単語を学習。
授業目標	英会話・英単語等の基礎を習得			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期	
科目名称	実践英会話Ⅳ	履修	必履修	
担当講師	程 海薇			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	28		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			交通での会話①
	11月			交通での会話②
	12月			雑談・トラブル①
	1月			雑談・トラブル②
	2月			総まとめ
	3月			
	授業概要			実践英会話Ⅲを通じて、留学生を含め学生どうしの英会話等を通じて英会話に親しみ、英語会話力の向上を目指す。
授業目標	英会話の基礎力の向上			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期	
科目名称	コンピュータリテラシーⅣ	履修	必履修	
担当講師	工藤正剛			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習	
単位時間数	28		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			Access総復習
	11月			Access総復習
	12月			タイピング練習、Wordによる実践チラシ作成
	1月			タイピング練習、Wordによる実践チラシ作成
	2月			タイピング練習、Wordによる実践チラシ作成
	3月			
	授業概要			『コンピュータリテラシーⅢ』で学習した Microsoft Access の総復習をし、知識と技能を身に付ける。 また、タッチタイピングをマスターし、ある程度実践的なチラシ・POP作りを行う。ビジネスシーンでも通用するレベルを目指す。
授業目標	Microsoft Access の基礎、タッチタイピング及び実践的なWordの操作方法のマスター			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期	
科目名称	色彩技能Ⅱ	履修	必履修	
担当講師	東海林千秋			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	36		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			配色とユニバーサルデザイン
	11月			検定過去問題の答練で検定に備える。
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
	授業概要			色彩調和についての理解を深め、知識の定着のため検定合格の知識もつける。
授業目標	色彩検定取得(3級またはUC級)、基本的な色彩計画ができるようになる。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期	
科目名称	地域研究Ⅱ	履修	必履修	
担当講師	恩田陽子			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	56		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			ポジショニング、ターゲット設定の上、課題解決に向かう
	11月			地元イベントにも参加、検討と考察を行う
	12月			反省を含み、リーフレットの作成や提案、発表資料の作成
	1月			リーフレットの作成、提案、発表資料の作成とプレゼン練習
	2月			発表
	3月			
	授業概要			地域における課題を発見し、その解決策をさぐるのを目的とする。後期は実際に計画したマーケティングについての実行と検討、提案を行う。
授業目標	各自が課題と考えた内容につき、その考察と解決に向けての目標設定のうえ、課題解決のために実行し、結果についてのプレゼンテーションを行う。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期	
科目名称	秘書技能Ⅱ	履修	必履修	
担当講師	恩田陽子			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	42		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			秘書的業務に必要とされる資質
	12月			一般知識、企業と経営
	1月			組織の中の人間関係、交際とマナー
	2月	検定試験答練		
	3月	/		
授業概要	これまで学んできた接遇マナーの知識を、秘書検定を通じて定着させる。			
授業目標	秘書検定2級合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期	
科目名称	販売理論Ⅱ	履修	必履修	
担当講師	恩田陽子・工藤正剛			
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	58		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			過去問題を参考に小売業の類型とマーチャンダイジングを解く
	12月			過去問題を参考にストアオペレーションとマーケティングを解く
	1月			過去問題を参考に販売経営管理を解く
	2月			答練で検定試験に備える
	3月			
	授業概要			販売士3級で学んだ基礎知識の応用編。後輩指導ができる立場で、販売経営管理、販売員の法令知識について理解を深める。
授業目標	販売士・リテールマーケティング検定2級合格レベルの知識の体得			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期	
科目名称	商業簿記演習Ⅲ (専攻講座Ⅶ)	履修	選択必修	
担当講師	工藤正剛、佐々木茂			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習	
単位時間数	84		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			過去問題及び予想問題演習
	11月			過去問題及び予想問題演習
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
	授業概要			日商簿記1級(商業簿記・会計学)、過去問題15回分が教材。演習を徹底的に繰り返し、得点力を養成する。
授業目標	日商簿記2級合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2022年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	総合講座A・B	履修	必修
担当講師	各講座毎で担当講師が異なるため未記載		
担当講師の実務経験の有無	(無) 有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	112 (A:56、B:56)		単位時間
授業計画	4月	/	
	5月	/	
	6月	/	
	7月	/	
	8月	/	
	9月	/	
	10月	各選択科目で講義・演習	
	11月	各選択科目で講義・演習	
	12月	各選択科目で講義・演習	
	1月	各選択科目で講義・演習	
	2月	各選択科目で講義・演習	
	3月	各選択科目で講義・演習	
	授業概要	選択科目A・B毎で1科目ずつ合計2科目を任意選択して学習をする。毎年度で開講科目は異なるが、例として法律系選択科目・コンピュータ系選択科目、語学系選択科目、ビジネス系選択科目などで構成される。	
授業目標	各選択科目で学習する知識の習得や検定合格などを目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		